

地球温暖化対策中間報告書

1 地球温暖化対策事業者等の概要

(1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあつては名称及び代表者又は管理者の氏名)	池袋地域冷暖房株式会社 代表取締役社長 島田 勝久
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都 豊島区東池袋 3-1-1

(2) 事業所の概要

事業所の名称		池袋地域冷暖房株式会社		
事業所の所在地		東京都 豊島区東池袋 3-1-1		
業種等	事業の業種	分類番号	G35 G:電気・ガス・熱供給・水道 熱供給業 ▼	
		産業分類名	熱供給業	
	事業所の種類	主たる用途	※部門分類	<input checked="" type="radio"/> 産業 <input type="radio"/> 業務
			<input type="radio"/> 工場	<input checked="" type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input type="radio"/> 廃棄物処理施設
			<input type="radio"/> 事務所	<input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input type="radio"/> 教育施設
<input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 文化施設				
		<input type="radio"/> その他 ()		
	建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当		
事業の概要		東池袋地域冷暖房区域における冷水、蒸気の熱供給業。		
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1) テナント事業者等の名称		
		(2) テナント事業者等の名称		
		(3) テナント事業者等の名称		
敷地面積			m ²	
建物の延べ面積			m ²	

(3) 担当部署

計画の担当部署	名称		技術部
	連絡先	電話番号	03-3988-6775
		ファクシミリ番号	03-3988-1747
		電子メールアドレス	
公表の担当部署	名称		総務部
	連絡先	電話番号	03-3988-6771
		ファクシミリ番号	03-3988-0355
		電子メールアドレス	soumu@ikenetu.co.jp

(その2)

(4) 地球温暖化対策中間報告書の公表方法

公表期間	平成19年7月1日 ~ 平成22年3月31日		
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	http://www.ikenetu.co.jp
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所:	25階 受付
		所在地:	東京都豊島区東池袋 3-1-1
		閲覧可能時間:	9:00~17:00(土日、祝日、年末年始は除く)
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名:	
	入手方法:		
	<input type="checkbox"/> その他		

2 計画期間

17 年度 ~ 21 年度

3 温室効果ガスの総排出量の状況

(1) 前年度の温室効果ガスの総排出量 単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
19,344						19,344

(2) 総基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの総排出量の推移 (単位:t(二酸化炭素換算))

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
総排出量	24,513	21,481	19,344	/	/	/
基準排出量 比増減率	/	12%	21%	/	/	/

4 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)等

(1) 温室効果ガスの排出の量 (前年度: 18 年度)

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量 単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
19,344						19,344

イ 前年度の建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量の状況等(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量	kg/m ² ・年
建物の延べ面積当たりのエネルギー消費量	MJ/m ² ・年

ウ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移 単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	24,513	21,481	19,344	/	/	/
基準排出量 比増減率	/	12%	21%	/	/	/

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策分類ごとの措置の実施状況(実施の有無)	基本対策	<input type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input checked="" type="radio"/> 計画なし
	うち、運用対策	<input checked="" type="radio"/> すべて実施 <input type="radio"/> 一部実施 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし
	目標対策	<input type="radio"/> すべて完了 <input checked="" type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし

目標の達成状況	推計実績削減量(目標対策分)	1,657 t-CO ₂
	推計実績削減率(目標対策分)	6.7%
目標削減率		7.0%
基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減率		12.4%

(その3)

5 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計

イ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量						
基準排出量 比増減率						

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

排出の抑制に係る措置の実施状況	<input type="radio"/> すべて完了	<input type="radio"/> 一部完了	<input type="radio"/> 未実施	<input checked="" type="radio"/> 計画なし
-----------------	-----------------------------	----------------------------	---------------------------	---------------------------------------

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等に関する総括

計画書の予定通りに設備更新工事が順調に進捗しており、平成18年度には高効率低負荷対応のターボ冷凍機の更新工事が1台終了、残る大きな設備工事はターボ冷凍機1台と氷蓄熱システムの導入、特高受電設備の更新のみとなっている。
また平成18年度現在の生産熱量は、すでに更新済みの機器によって全て生産されており、これらの機器の効率的な最適運用、及び電気・ガスのベストミックスを目指した運用により、エネルギー使用量と炭酸ガス排出量削減の前倒し的な実現をはかっている。
これにより計画書の見込み通り、またはそれ以上に炭酸ガス排出量の削減を達成することが出来ている。

(中間年度以降の取組方針)

引続き以下の様に積極的に地球温暖化対策に取り組む。

- ・高効率機器による最適システムの最適運用によるシステム効率(COP)の向上
- ・新方式の省エネルギー型高効率冷凍機である冷水過流量型ターボ冷凍機を最適運用するノウハウの検討と開発
- ・氷蓄熱システムと特高受電設備の更新工事の実施
- ・需要家を含めた「環境対策委員会」により需給双方協力したエネルギー有効利用方法の検討ならびに東池袋地区でのエネルギーの面的利用推進の検討
- ・他企業との省エネや温暖化対策に関する情報交換により、新しい省エネ手法の開発と積極的導入及び活用
- ・太陽光発電などの再生可能エネルギー利用の検討

・一般事務所機器および照明等の高効率機器の導入(更新)、あるいは不要時電源断の徹底
これらの方針を事業所内で常に意識し一丸となってこの計画を遂行・達成を図ることで、さらなる地球温暖化防止に寄与するとともに、これにより業界における先導的な役割を担っていく方針である。

(その4)

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表)

(1) 基本対策及び目標対策

対策No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。)	対策レベル	追加年度	計画時の削減効果見込量(t)	達成状況		備考		
					推計実績削減量(t)	推計実績削減率(%)			
1	水管式ボイラー更新工事	目標対策 ▼		130	64	0.25%			
2	ターボ冷凍機更新工事	目標対策 ▼		1,424	1,585	6.46%			
3	氷蓄熱システム導入工事	目標対策 ▼		139					
4	配管スペース照明更新工事	目標対策 ▼		9					
5	ボイラー給水ポンプ更新工事	目標対策 ▼		7	8	0.03%			
6	冷凍機室照明更新工事	目標対策 ▼		1	1				
7	ボイラーブロー率変更	基本対策(運用) ▼		1	4	0.01%			
8	過流量ターボ冷凍機の積極的運用	基本対策(運用) ▼	17	989	633	2.58%	平成19年度からはターボ冷凍機更新工事の削減効果となる		
9	送水圧力低減によるポンプ動力削減	OK 基本対策(運用) ▼	17	88	72	0.29%			
10	特高変圧器更新工事	目標対策 ▼	18	22			特高室空調設備更新又は改造が平成21年度にずれ込む見込み		
11		▼							
12		▼							
13		▼							
14		▼							
15		▼							
合計					2,366	9.6%	計画削減量(t)及び計画削減率(%)	2,809	11.4%
合計(うち目標対策分)					1,657	6.7%	目標削減量(t)及び目標削減率(%)	1,732	7.0%

(その5)

(2) 再生可能エネルギーの導入に係る措置

ア 再生可能エネルギーの導入に係る考え方

技術レベルや経済性を勘案しながら、積極的に再生可能エネルギーの導入を検討する。具体的には、技術水準が十分に普及レベルにある「太陽光発電」の導入を検討する。また、風力発電については、全社的な取り組みとして電力証書の購入を検討する。

イ 再生可能エネルギーの導入計画及び前年度末における導入実績
(事業所内で設備導入を行うものに限る。)

再生可能エネルギーの種類(発電)	単位	実績導入量	計画導入量	概要 (導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

再生可能エネルギーの種類(熱利用)	単位	実績導入量	計画導入量	概要 (導入時期、規模、方法等)
	GJ			
	GJ			
	GJ			
計	GJ			

8 事業所内で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係るその他の措置

(1) 事業所における再生可能エネルギーの環境価値の保有

種類	単位	実績導入量	計画導入量	概要 (導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

(2) その他の取組

事項	取組概要						
テナント事業者等への還元のための措置	熱供給規程の見直しを含めて、中間期、暖房期等の冷水供給温度の変更を「環境対策委員会」などで検討する。						
廃棄物の削減	<table border="1"> <tr> <td>廃棄物の排出量を把握し再生可能品の分別回収を徹底している。また無駄を省くことでPPC用紙使用量は前年度比約10%、1800枚、約7kg削減できた。</td> <td>削減予定量</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td></td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> </table>	廃棄物の排出量を把握し再生可能品の分別回収を徹底している。また無駄を省くことでPPC用紙使用量は前年度比約10%、1800枚、約7kg削減できた。	削減予定量	実績		t	t
廃棄物の排出量を把握し再生可能品の分別回収を徹底している。また無駄を省くことでPPC用紙使用量は前年度比約10%、1800枚、約7kg削減できた。	削減予定量	実績					
	t	t					
グリーン調達	事務用品等では、グリーン購入品目の割合を積極的に増大させるという目標のもと取組み、平成18年度末現在で81品目をグリーン購入品目に切替えている。						
物流の効率化	プラント保守点検時の機器や資材等の搬出入については、その時間を調整し、車両の渋滞緩和に寄与する。						
その他、社員の通勤における削減対策等	社員の出勤及び公用の際の移動は公共交通機関の利用を徹底する。						

(その6)

9 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進捗状況及び目標の達成状況等(個表)

(1) 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策 No	対策の名称	計画			達成状況		備考
		対策導入率等		削減効果 の見込量 (t)	導入率 等	対策完了に よる削減効 果の量(t)	
		現状	目標				

(2) 自動車等に係るその他の事項

--

(その7)

10 事業所外で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

事項		(達成状況)				
都内で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減量	見込	実績	t-CO2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策					
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	m ²
	その他	【環境担当研修】環境管理の充実と環境意識の啓発を図るため、環境担当と実務担当者を対象とした研修会を随時実施する。 またはこれに変わる講習会・シンポジウム等に積極的な参加をはかる。				
都外で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減量	見込	実績	t-CO2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策					
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	m ²
	その他	CO2排出量が多い産業界の一員として、各種関連団体に所属し、産業界が一丸となって推進するプロジェクトにも積極的に参画する。 また社内で行った省エネ活動の成果について関連団体へ対し積極的に情報発信することにより、業界全体の省エネ活動のレベル向上に協力していく。				
上記以外で、他の事業者、消費者等の温室効果ガスの排出の抑制に寄与する取組等		【資格取得・自己啓発支援】エネルギー多消費型事業者として、温室効果ガスの排出抑制対策は経営上の重要課題の一つとして位置づけ、全社員を対象として環境に関する有資格者や理解者を増やすため、係る資格や講習等の受検・受講費用の援助などの支援を行い、環境保護意識の高い人材の育成に努める。				